

老化における各器官の変化と症状(一部)

目

水晶体のタンパク質変形
→白内障
視力低下
視野の低下

耳・鼻

聴力、嗅覚の低下
→不安症、食欲低下

口腔内・歯石

歯が抜ける
口臭
唾液の分泌減少
→摂食障害、食欲低下

食道

神経細胞の萎縮
→機能低下

循環器系

心拍出量30%低下
→心疾患
気管や肺の分泌液減少と粘稠度UP
→閉塞性疾患、低酸素症、肺炎

内分泌系・神経系

ホルモン分泌の異常
→甲状腺機能低下症
副腎皮質機能亢進症
自律神経機能低下
→消化器運動障害
代謝低下
→体温低下
セロトニン減少
→睡眠量の増加

皮膚・被毛

弾力の低下
できもの
シミ
抜け毛

泌尿器系

免疫力低下
→感染症
膀胱の筋肉の衰え
→失禁
前立腺疾患(未去勢時)

関節系

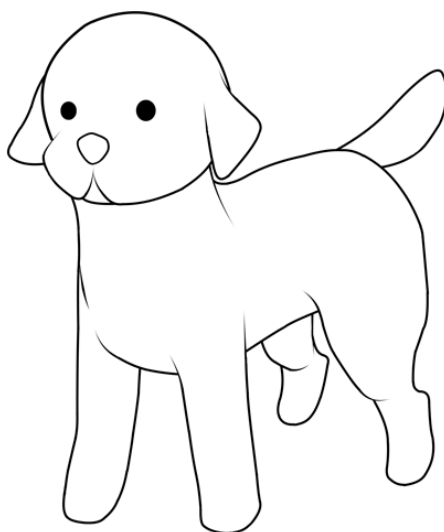
変形性関節疾患
関節炎
→お散歩に行きたがらない

消化器系

消化酵素の減少
絨毛の退縮
蠕動運動の低下
胆汁の生産量低下
→栄養素の吸収の低下、便秘

肝臓

肝細胞の減少
細胞内の脂肪含有量の増加
→脂肪肝、肝機能低下



何にも異常がなくても、これだけ起こり得る可能性があるんですね

なので、

老犬のトリミングはなるべく回数減らして手早くやるのが大事??

ってだけでもないんです実は! ※性格にもよる

1回のトリミングを分けてやらないと、とっても体に負担なんですよ

伸びきる前に、汚れがたまる前に(^^)

もちろん、少なくとも年に2回は健康診断を受けられると良いですね♪